



# 和佐だより 始業式号

和歌山市立和佐小学校  
令和5年(2023年)8月28日 発行  
(学校長) 結城 将光



## 「松下幸之助氏」から学ぶこと！



長い夏休みが終わり、25日(金)に始業式を行いました。今年は特に猛暑で、台風の被害も他の地方ではあり、線状降水帯などの異常気象が目立つ夏休みでした。

学校も、いよいよ様々な行事が予定されている2学期に突入しました。2学期は、運動会や遠足、社会見学、PTAの秋祭り、各種集会など、さまざまな行事が行われる予定です。

先日の「始業式」では、ちょうど校長室に松下幸之助氏の写真と本人作の詩が壁に掲げられているので、和佐出身の偉人「松下幸之助」氏の『青春』という詩を紹介させていただきました。

「青春とは、心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気に満ちて、日に新たな活動を続けるかぎり、青春は永遠にその人のものである。」という詩です。

松下氏は、お金も学歴もなく、そして、病気を患い決して健康とは言えない中で、一代で松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)を創り上げた人物で、世界的にも有名な方です。

松下幸之助氏は、経営者としての役割の1つは、「従業員に夢を持たせ、目標を示すことである」としており、「それができない経営者は経営者として失格」とまで語っています。

よく「学校は、社会の縮図である」と言われます。学校を会社に例えたなら、この言葉は学級経営や学校運営にも言えることだと思います。

子どもたちに夢を持たせ、目標を示すのは、われわれ教員だと思います。それが私たち教師の務めでもあります。

先述しました松下氏の詩にある、「勇気に満ちて、日に新たな活動を続けるかぎり」の文言にあるように、目標に迫るためには、我々が子どもにその勇気づけをしていかなければなりません。松下氏も、自分の会社の従業員一人ひとりを大切に育てていったそうですが、それは、学校教育でも大切にしなければならない精神でもあります。この2学期は、特に行事が多い学期でもあり、子どもたちの活動も活発にならざるを得ない時期でもあります。このような機会を利用し、子どもたちに「勇気を持たせて、新たな活動」へ導いていければと考えています。

そして、一人でも多くの子どもが勇気に満ちて、自ら活動へと向かい、和佐小学校という会社が大きく成長していけることを願っています。

また、和佐小学校では、低学年が中心となり、和佐幼稚園との「幼小連携」を授業の中に組み入れる計画を図っています。これは、幼稚園から小学校に入学する流れをスムーズにする目的もあります。当然、幼稚園教育と小学校教育に違いはあるのですが、その違いを知った上で、幼稚園と小学校の壁を小さくして、なるべく不安のない入学と成長ができることを目的にしたものです。

このような活動をしていく中で、園児と児童の交流もでき、ひいては園職員と学校職員の交流にもつながっていくことにもなります。

このような交流により、児童がお兄さんお姉さんとして園児と関わることで、年上としての自覚をもち、さらにいろいろと園児に教えることで小学生としての自信にもつながっていくのであれば、それがこれからの成長の糧にもなると思います。

保護者の皆様、少しでもお子さんの挑戦する姿が見られれば、大いに褒めて、大いに声援してあげてください。成果を期待せず、その志を認めてあげてください。それが、次への成功に繋がると 생각합니다。

さいごに、保護者のみなさま、どうぞ、2学期からも、学校教育にご理解とご協力をお願い申し上げます。

児童のみなさん、気持ちを入れ替えて、幸之助さんのように「勇気をもって」2学期を過ごしましょう！その気持ちが大切です。



★地域の皆様、平素より本校にご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

地域の皆様、日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして、本当にありがとうございます。

学校の子どものために、通学の見守りや図書館整備の支援、アルミ缶募金、ボランティア活動など、関係のさまざまな方のご支援を授かっております。学校運営は、地域の方々のご支援なしでは進んでいきません。いつも温かく見守っていただいてうれしい限りです。また、2学期も、これまでと変わらずご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、まだまだ残暑厳しい折ですので、ご自愛ください。